

平常時の防災情報利活用に向けた研究開発

社会防災研究領域 総合防災情報センター／防災情報研究部門 かみだけいご 上田啓瑚

Point

- 地域や学校での防災対策・防災実践に有効な防災情報の提供・共有
- 地域の災害リスクを踏まえた防災実践支援手法の開発
- 予防から対応フェーズをつなぐ防災情報の提供

概要

地域防災Web

地域での防災活動や防災教育において、地域の特性や災害の危険性を把握したうえで取り組むことが重要となります。

そこで、地域の自然特性、社会特性、災害の危険性を相対的に提供し、**地域の特性を把握できるとともに、地域の特性に応じた防災対策や実践、人材情報等を推奨するWebサービス**を研究開発しています（図1）。

地域での防災情報の共有などの実践に加え、学校防災の分野でも活用いただけるよう、学校現場と連携した防災授業などのアクションリサーチを通し、研究開発を進めています。

防災クロスビュー

本システムは、SIP4D（基盤的防災情報流通ネットワーク）等により共有された災害対応に必要な情報を集約し、統合的に発信しています。同システムは、予防・対応・回復の全フェーズを通じて活用できることを目指しており、現在、**予防と対応をつなぐ防災情報の提供と活用を拡充**すべく、研究開発を進めています。

災害発生前から出される地域の災害リスクや過去の災害実績、地域の自然特性・社会特性等の地域の特性に関する情報や災害警戒期から出されるリアルタイムな情報や予測情報、警戒情報を重ね合わせ（クロスさせ）、判断・行動に資する情報プロダクツの提供をめざしています。

今後の展望・方向性

今後、地域防災Webにおいては学校現場の導入可能性や効果について実践を踏まえ、検討を進めます。さらに、それぞれのシステムにおいて、閲覧者の動態を把握しつつ、判断や行動に資する情報提供の在り方についてシステムの改善を行いつつ、研究開発を進めます。

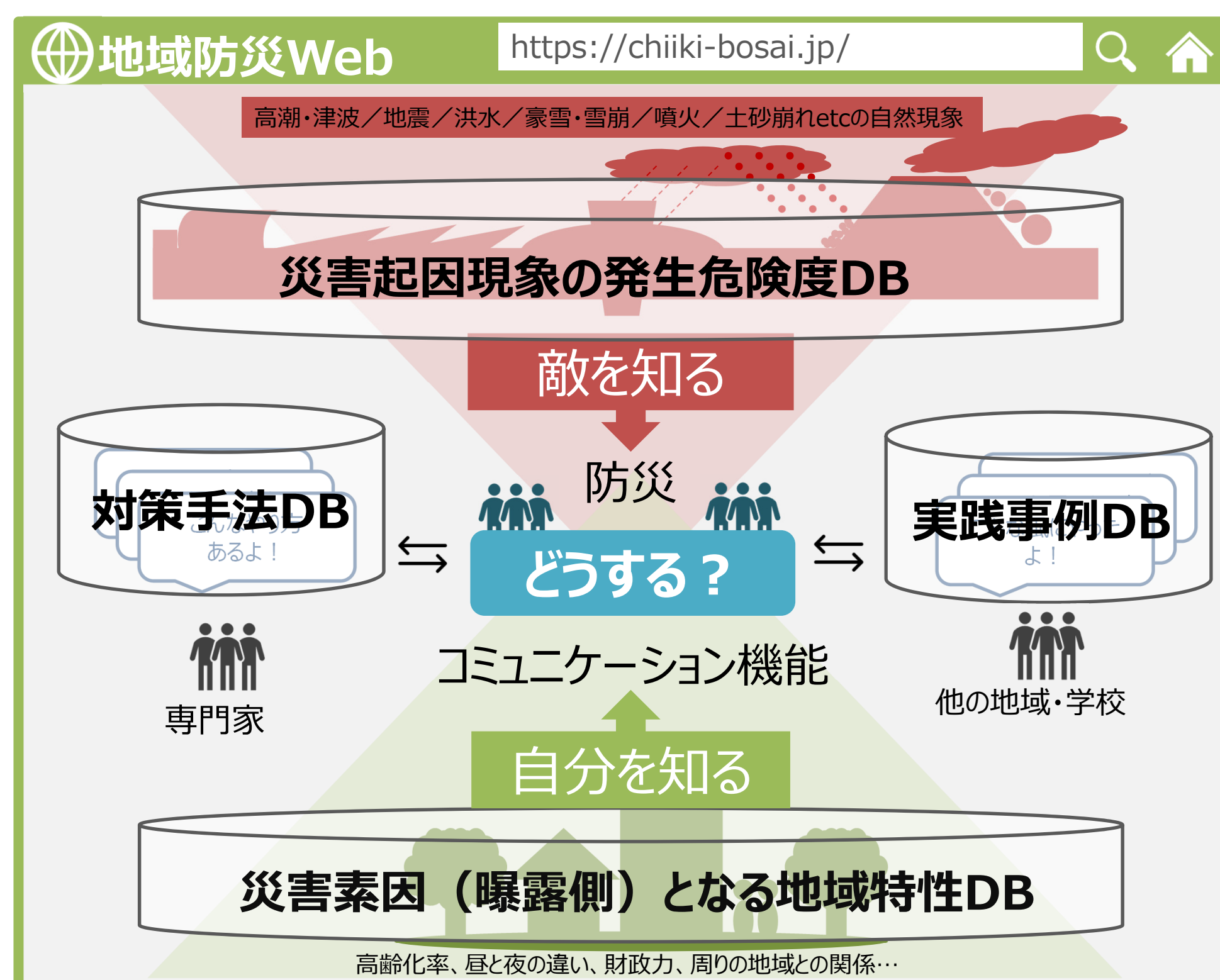


図1：地域防災Webの概要

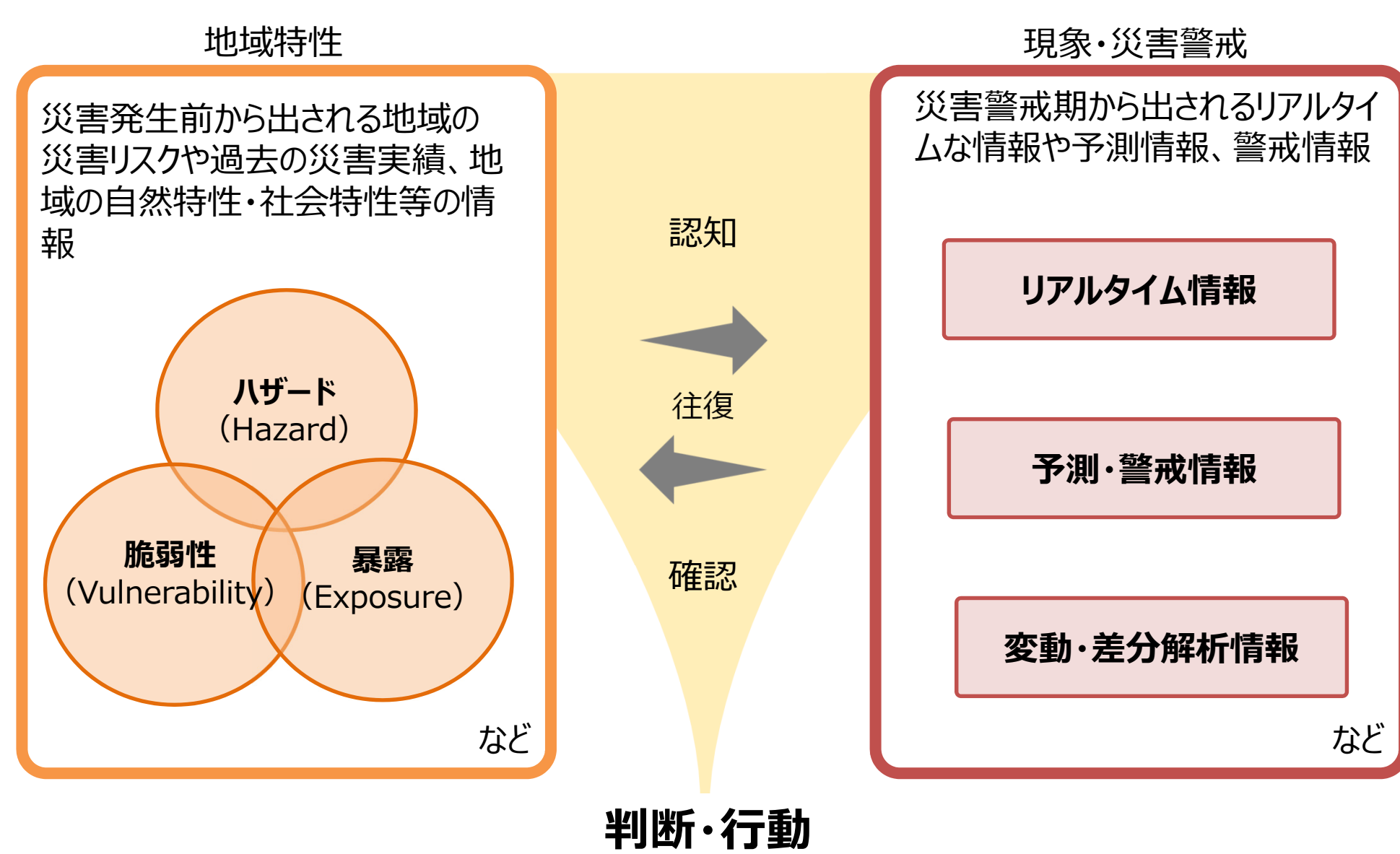


図2：地域特性を活用した防災行動



図3：学校におけるアクションリサーチの様子

